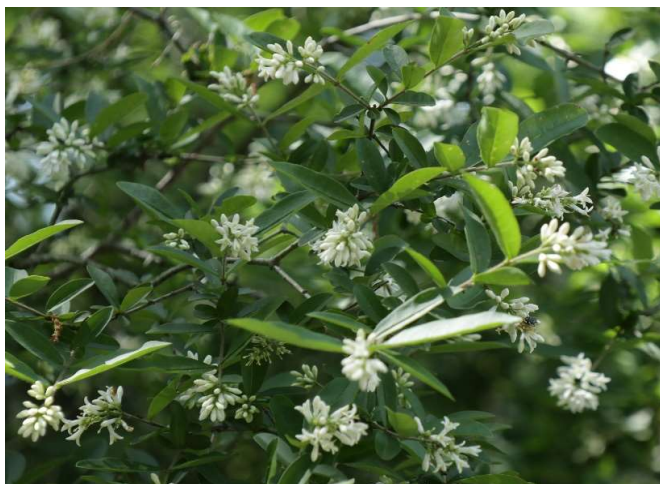


梅雨入り直前の晴れ間に、朝露の中、花粉や蜜を求めて飛び交う昆虫を観察に、初夏の景色となった雨上がりの森を散策しました。観察した昆虫は春から今週末分も含めて、特集でご報告させて頂く予定です。先週まで楽しませてくれたキンランも終盤となり、これからは、草花はやや背丈の高いクララそしてバジランオへと、初夏の花へ移っていきそうです。



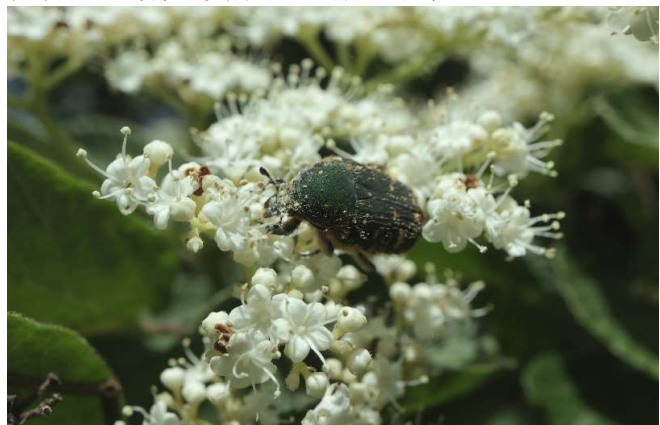
緑が濃くなった、弁天池からの景色。川沿いにはコバギボウシの若い葉が沢山見られ、初夏の森となりました。



イボタノキ(水蠟樹・疣取木):モクセイ科、キンモクセイに似た芳香がある、葉は黄緑から深緑へと変化



ニガナ(苦菜):キク科、沖縄料理で野菜として供されるニガナはホソバワダンという別種



ガマズミ(莢蒾):レンプウ科、果実は晩秋が食べ頃 コアオハナムグリが花粉を食う様に食べています



クララ(眩草):マメ科、自生地は減少傾向、オオルシジミ(絶滅危惧類)はこれのみを食卓、今週末には開花しそうです



サイハイラン(採配蘭): ラン科、唇弁は赤紅色となるのですが・・・  
針葉樹林の中で、日差しが僅かに届く所に生育しています



エゴノキ:エゴノキ科  
果実を口に入れると喉や舌を刺激してえぐいことに由来  
5枚の花弁で雄しべは10本、晩春に白い果実を求めて  
エゴシクゾウムシが現れます。これから注意して見て下さい。



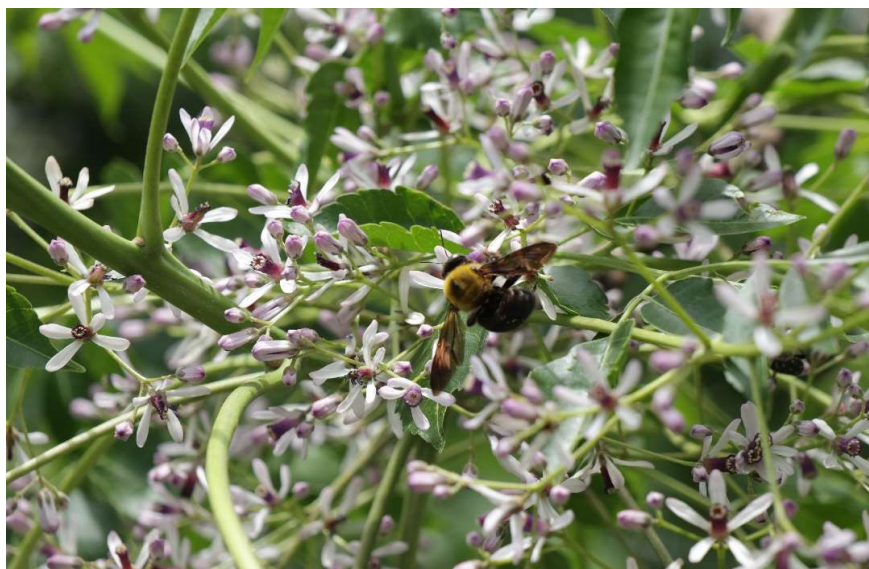
マユミ(檀、真弓、檀弓):ニシキギ科  
果実は4つに割れ、中から赤い実が現れる



スイカズラ(吸い葛):スイカズラ科  
かつて蜜は砂糖の代替えに用いられた



ゴウソ(郷麻):カヤツクサ科



センダン(梅檀):センダン科、第一近隣公園入口にて

特記事項:

バジトラノオの草地は、只今ガマズミが  
開花し、沢山の昆虫が集まってきます。  
蝶々・蜻蛉も飛び交っています。  
今月末には、クララの開花に合わせて  
散策路を設ける予定です。花に集まる  
昆虫、ススキの葉に隠れてる昆虫を  
探してみてください。